

活動ノート



6月29日(日)

アカマツ林作業(草刈・除伐)

13:00~15:00

◆参加者: 迫(盛)、林、川上、岩尾、本村、鎌田、榊、篠原、静間 計9名



◆内容: 午前中のうん・えー会、昼食に引き続き、ミーティングと簡単なストレッチを行い、道具出しをしてアカマツ林に向かいました。

アカマツ林に行くと、前回4月に草刈と松葉掻きをした、A地区内はすでに草丈が伸びて地面を覆っていましたが、シダはあまり伸びてはいませんでした。B地区に入るとカヤとかシダが生い茂り、草の間から実生からの幼木が顔をだして早く草を刈ってお日様を当ててくださいと言わんばかり。

刈る場所を確認し、又熱中症予防の為水分補給の必要性についても説明し、作業を開始しました。草刈の他に、刈った草の処理場所近辺の小木もノコを使って伐り、随分すっきりしました。日当たりが良いせいか、実生木の成長も著しく、本数も多くて近い将来間伐の必要もでてくるかも?と思わせる程でした。

あまり風もなく湿度が高いせ

いで、腰を下ろしてから立ち上がるうとしたとき、くらくとしたとの申し出もあったので、これから暑さとの戦いの中での作業もありますので、こまめな休憩と水分補給(スポーツドリンクが良い)に心がけていく必要があるなと感じました。

【ふりかえりより】

- ・暑い中、草刈作業はアセがいっぱい出て良かった(榊)
- ・実生のチビが元気良く成長していて嬉しくなりました(岩尾)



7月7日(日)

カブトムシの森作業(除伐)

9:30~15:00

◆参加者: 静間、林、川上、榊、鎌田、富永、<午前のみ>柴戸、中嶋、<午後のみ>菊池(潤)、(泰) 計10名

◆内容: 暑さ本番のもとでの作業となったので、打ち合わせでは熱中症対策として、無理せず早めの休憩と水分補給の注意喚起をし、ハチに対する注意も確認しました。

道具を出して準備運動をしたところで雨がパラパラ降ってきたので、暫し様子を見て、あがったところを出発。東屋で準備を整えて作業区域の確認をした後、1



0時20分ごろから草刈を開始しました。

ミツバ、ダイコンソウの花が咲き始めたところで、ササ、イタドリも旺盛に伸びていて、作業量としては十分。ミツバは刈ると独特のいい香りがしました。

11時頃斜面の観察区域に隣接する場所で会員の1名がムモンホソアシナガバチの巣をヒットして、軍手の上から刺されました。早速ポイズンリムーバを利用して毒液の吸出しをしましたが、普段使い慣れていなくて以外と手間取ったので、皆で練習しました。

その後雨が降り出したので、そのまま11時30分から昼食としました。雨はやがて止んだので、12時15分から作業再開。暫くして今度はタイザンボク横あたりの叢で、別の会員が眉と手を刺されましたが、今度はさっきの経験を生かしてスムーズにポイズンリムーバを使用できました。

13時30分頃には作業が完了したので道具の確認をして45分に撤収しました。14時15分からセンターで振り返りをして45分に解散となりました。

担当者の振り返りとしては、事前に注意喚起したものの、2件の



ハチ被害が発生したのは残念でした。作業をしているとついのもり込んでどんどん進んで行ってしまいますが、事前に作業しそうな場所は広範にチェックして必要があると思いました。

また、カマを人数分持ってきたはずが一本不足していて、午前中の作業に支障が出ました。めったにない手違いでしたが、途中からの参加者がいることもあるので、道具は少し余分に持って行く必要があると思いました。

【ふりかえりより】

- ・久々の草刈りでしたが、前よりカマの使い方が上達した気がします。（中嶋）
- ・久々の作業でした。草を刈りながら植物をみるので楽しいです。（柴戸）

7月20日（土）、21日（日） カブトムシの森昆虫調査

◆参加者：新牛込（誠）（寛）（清）（雅）、富永、鎌田、＜体験参加（21日のみ）＞幸次親子 計8名

◆内容：今回は皆さん都合が悪かったようで、いつもの昆虫調査のメンバーのみの活動スタートとなりました。例年のスケジュールだと山笠などとイベントが重なっていたことや、夏休み期間だと炊飯場やバンガローが使用できるなどを考慮して、1週遅くしましたが、逆に参加者が少ない結果となりました。来年に向けての反

省点にします。

バーベキュー終了後はカブ森の観察小屋へライトトラップを設置して8:30~22:30の約3時間で24種類の昆虫を撮影&同定できました。また、ナイトウォークの一般参加者50名ほどが20分程度見学に訪れましたので、カブ森や森会の紹介と簡単なライトトラップの説明を行いました。

2日目は朝4時から早朝のライトトラップとビーティングを行ないました。その後全員でうどんを食べて小休止、9:30に体験参加の二人を加えてトラップの回収とルート観察を行ないました。ルート観察ではノコギリクワガタや貴重なオニヤンマの産卵シーンなどを見ることができましたが、トラップに関しては来園者のトラップ荒らしにあってほぼ全滅でした。普通では手が届かない位置に設置していたのですが、無駄でした。今後はトラップを使わない調査への移行を検討します。

【ふりかえりより】

- ・ライトトラップは色々な虫が集まって面白かった（富永）
- ・今日はトラップがあらされていたので残念でした（新牛込清）

8月1日（土） カブトムシの森作業（草刈）・昆虫調査

9:30~15:00

◆参加者：松雪、中嶋、静岡、岩尾、篠原、柴戸、新牛込（誠）（清）、鎌田 計9名

◆内容：連日35℃以上の猛暑が続く、またお盆前の忙しい時期で、参加者は極めて少ないのではと危惧していたのですが、思っ



いた以上の9人という人数が集まり世話役としてホッとしました。

今日の活動は、「カブトムシの森A地区での草刈り」と「カブトムシの森での昆虫調査」の二本立てでしたので、参加者を上記の二班に分け作業・調査を行うこととしました。当日は予想通り朝から猛暑で、かつ風もほとんど無い状態でしたので、皆さん作業前から汗だくになりながらオリエンテーション・道具準備・準備体操を済ませ、予定通りセンターを10時に出発、10時半頃から現地作業・調査を開始しました。

草刈班は、今年ほとんど手が付けられていなかったA地区で、主にカマと根切りバサミを使っての作業を行いました。草の繁茂状態としては、イタドリやササは毎年継続して刈っているためか思ったほどは繁ってはいませんが、これまで伐採してきたクヌギやネズミモチ、ヤブツバキなどの切り株からの萌芽枝が地区全体でかなり大きくなっており、見栄えの悪い状態になっていました。やはり、これまでの間伐によって林床部まで日が当たるよ





うになったことが、萌芽枝の急速な成長に影響しているのかもしれない。

草刈作業は、草やササ、萌芽枝などの繁茂が著しかった芝生広場の直下斜面、旧飼育小屋付近のヤード周辺、遊歩道北側の斜面、湿地の西側斜面を中心に行いました。何分にも暑い中での広範囲にわたる作業であったため、ほぼ20分おきに休憩・給水を行い、午前・午後の作業も予定より15分程度早めに切り上げた結果、最も懸念された熱中症になる人は出ませんでした。

ただ、7月の草刈りと同様、1名がムモンホソアシナガバチに刺されてしまいました。事前確認及び作業時に草を払うなどの手順は踏んでいたのですが、葉の裏の小さな巣で、ハチ自体が常時飛び回っている訳ではないので、完璧に避けるのはかなり難しいように思えます。ただ、今回は虫さされに良く効く薬を準備していたこともあって、大事には至らなかったのは幸いです。

皆さんの汗だくでの奮闘もあって、草刈り作業は14時にはA地区全域でほぼ終了し、本当にスッキリした森の景色となりました。草を刈りながらの印象としては、毎年草刈りを続けている効果か、イタドリやササの勢いが徐々に無くなってきており、前のように背の高いものが一面に繁茂するというような状態はあま

り見られなくなりました。やはり、「継続は力なり」です。

また、今日は「昆虫調査」も行われましたが、カブトムシの森でのこれまでの間伐や草刈り等が、昆虫の成育などにどのように影響しているのかを教えて頂ければと思っている次第です。(昆虫調査の詳細は特集記事をご覧ください。)

【ふりかえりより】

- 暑かったが、そこそこに刈り取ることができてスッキリした出来上がりでした。(静間)
- 少数精鋭で、予定通りA地区全体の草刈りをほぼすべて終えることができました。それにしても暑かった！(松雪)

8月18日(日)

木工教室

9:30~15:00

◆参加者: 鎌田、松雪、静間、林、岩尾、新牛込(誠)、(清)、<午前のみ>小川R、<午後のみ>徳光 計9名



◆内容: 今回は、家型オブジェとサイコロパズルを作りました。作業開始時間の9時半になっても人が集まらず、10時まで開始を遅らせて8名でスタートしました。

まず、道具の準備をして、作り方の説明をしました。家型オブジェは、丸太を玉切りにして屋根、壁、床面を斧で落として形を作り、彩色しておしゃれなお家を作り



ます。サイコロパズルは丸太をサイコロのサイズ(厚さに)に玉切りして、斧でサイコロを作り、サイコロの6面に4面1組で図柄や文字を焼き、ペンで焼き入れパズルを作ります。

地下倉庫の材は、ヤブツバキ、タブノキ、ヤマザクラがあり、どの木が、木目をまっすぐに加工できる(割る)か試してから製作に入ることになりました。

タブノキは割れが入っていて使えない。ヤマザクラは腐朽菌が入っていて板面が汚い。そのため、ヤブツバキを使っの工作となりました。

サイコロパズル作りでは、同じ大きさの立方体を切りだすのが「至難の業」で、結局何度かチャレンジしてみたものの、等厚に切れない、木目が通らないなどのため、2人しか作れませんでした。

一方家型のオブジェ作りは仕上げの形状がサイコロほど精度を求めないので形に凝り、彩色に凝りあつという間にお昼になり、30分延長作業。家型オブジェの仕上げは、運河のある街のジオラマ作りでした。最後に記念撮影をして終了となりました。

【ふりかえりより】

- 街のミニチュアで運河をつくって楽しみました。(新牛込誠)
- 雑木を加工するのは難しかったが次回は材の性質を考慮した工作を考えまーす(鎌田)